

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] Social resilience during the COVID-19 epidemic as seen from changes in the number of trauma surgeries
外傷手術件数の推移から見た COVID-19 流行期の社会行動の変化と回復

[研究責任者] 長崎医療センター形成外科 藤岡正樹

[研究の背景]

わが国では2020年2月に初のCOVID-19患者が確認され、以来2023年5月に5類への変更がなされるまでに3年余りの期間コロナ禍に悩まされました。この間休校やイベント自粛など日常生活の制限がなされ、医療機関には緊急を要さない手術延期などが求められました。本研究ではCOVID-19流行前と流行中の外傷手術の変化を検討し、流行による社会生活の変化とその回復について検討します。

[研究の目的]

COVID-19流行期の社会行動の変化と回復を外傷手術件数の推移から検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

調査対象は地域救急医療を担う病床数350床以上の総合病院12施設の外傷手術件数で、全身麻酔および脊椎・局所麻酔を受けた形成外科緊急手術患者数の推移をCOVID-19流行前の5年間と流行中・流行後の2020-2023年で比較します。

●研究期間：倫理審査委員会承認日から10月31日

●利用するカルテ情報

カルテ情報：緊急手術患者数だけの情報

●情報の管理

情報は、長崎医療センター内で集計・解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。この研究は、長崎医療センターのみで行われますが、データ収集は以下の医療機関から協力を得ます。

福岡徳洲会病院（春日市）、愛媛県立中央病院（松山市）、長崎みなと医療センター（長崎市）、大分鶴見病院（別府市）、大分中村病院（大分市）、松江赤十字病院（松江）、山口県立総合医療センター（防府市）、佐世保市立総合病院（佐世保市）、宮崎江南病院（宮崎市）、北九州総合病院（北九州市）、北九州市立八幡病院（北九州市）、国立長崎医療センター（大村市）

[情報の取扱い]

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター
形成外科 藤岡正樹
電話番号：0957-52-3121（代表）